

みんなであつなく

# ダム水源地ネット

2002.9月号 9

平成14年度 森と湖に親しむ旬間 特集号

散歩道 / 弥栄湖の水と自然を永く提供するために

特別企画 / 第6期（平成14年・15年度）水源地域エキスパートの紹介

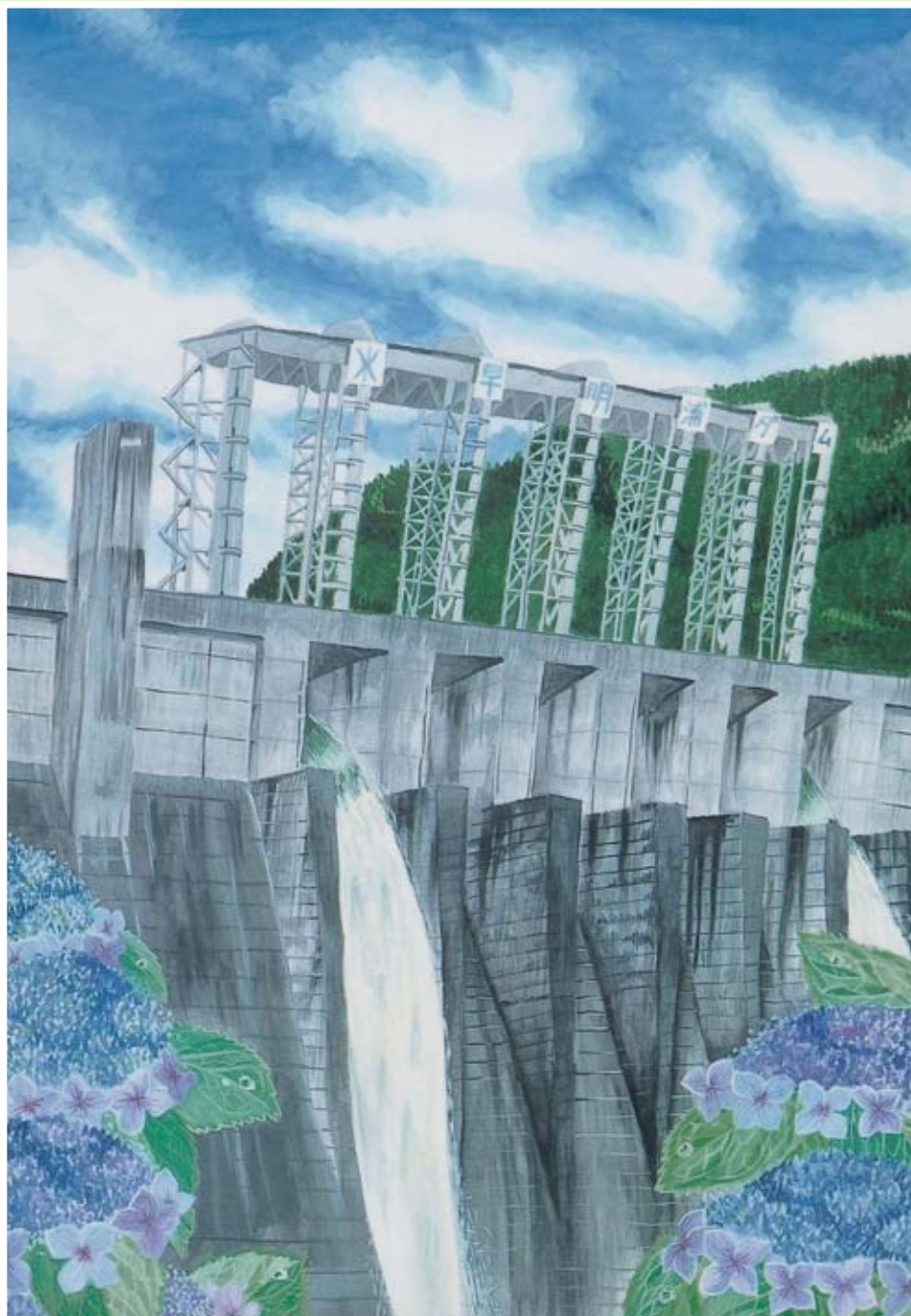
こちらダム水源地 / ロマンチックな山里 ほか

特集 / 森と湖に親しむ旬間

「森と湖に親しむ旬間」について 昭和62年から16年目を迎え

全国行事16年を振り返って

【花とみどりの水源地コンテスト】【流域経営功労賞】

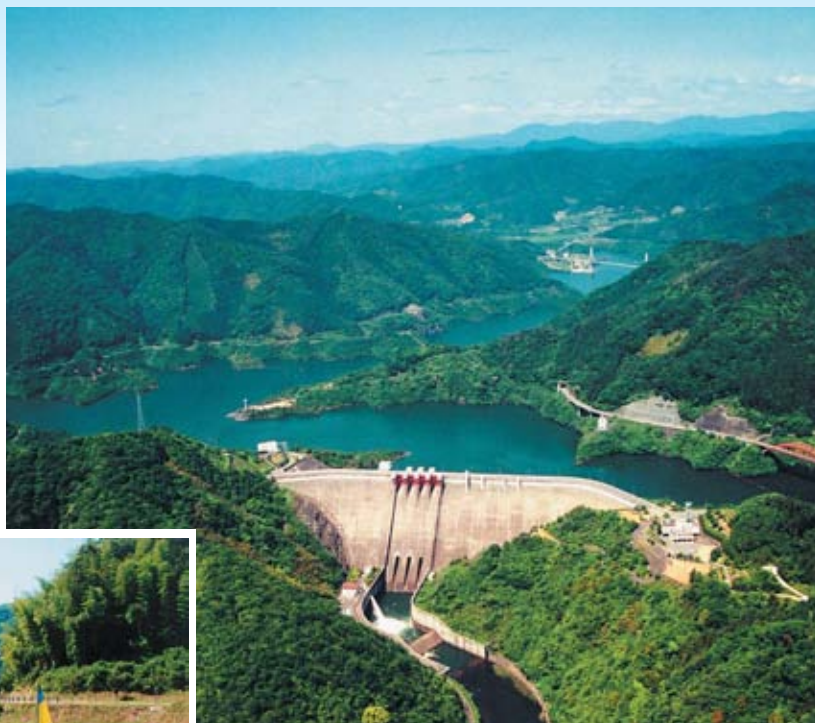


# 全国行事 全国森と湖に親しむつどい

(7月27日・28日)



ジャンピングバルーン体験



会場となった弥栄ダム。4つの会場に分かれ、様々なイベントが繰り広げられた



好評だったカヌー教室



メインゲート



「森と湖のある風景画コンクール」受賞者の表彰

平成14年度の「森と湖に親しむ旬間」は、いきいき  
きらきら、森と湖と人のくらしをテーマとして、7月  
21日～31日に全国各地で開催されました。  
旬間の全国行事「全国森と湖に親しむつどい」は、7  
月27・28日に弥栄<sup>やまが</sup>ダム湖畔(山口県・美和町、広島県・  
大竹市)で、「森と湖・弥栄湖フェスタ」と銘打って、今  
年度もふりそそぐ太陽の光のもとでスタートを切るこ  
とができました。

## 記念式典

27日(土)午後3時、メイン会場の特設ステージにお  
いて、全国テーマソング「森と湖のハーモニー」の演奏  
に乗って記念式典が開幕。来賓者の紹介、美和東小学  
校の生徒4人によるシンボルフラッグ掲揚、続いて主  
催者挨拶、祝電披露、「森と湖のある風景画コンク  
ール」・「流域経営功労賞」・「花とみどりの水源地コンテ  
スト」受賞者表彰、次期開催地(北海道朝日町・岩尾内  
ダム)の紹介等が行われました。

## シンポジウム

28日(日)午後1時より、山口県美和町にある「ハーモ  
ニーみわ」にて、2部構成のシンポジウムを開催し、第  
1部「子どもフォーラム」では、NHK報道局記者主幹  
の池上彰氏を進行役として、先立って行われた「サマー  
キャンプ」の体験をもとに、小瀬川流域2市3町の小学  
校5年生43名が意見交換を行い、子供の感性で受け止  
めた環境保全や地域の活性化のあり方について、自分  
たちでできることは何か、ということをとまとめた「子ど  
も宣言」を発表しました。



みんなでつなぐ

# ダム水源地ネット

2002.9月号

# 9

目次

全国森と湖に親しむつどい	2
<b>今月の行事</b>	4
散歩道(バセオ)	
<b>弥栄湖の水と自然を永く提供するために</b>	5
山口県美和町長 西村幸博	
特別企画	
第6期(平成14年・15年度)	
<b>水源地域エキスパートの紹介</b>	6
こちらダム水源地	
<b>ロマンチックな山里</b>	8
<b>「東荒川ダム」森と湖に親しむ旬間イベント</b>	9

特集 森と湖に親しむ旬間

「森と湖に親しむ旬間」について  
昭和62年から16年目を迎え

**全国行事16年を振り返って**

**【花とみどりの水源地コンテスト】**  
**【流域経営功労賞】**

「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会事務局



弥栄ダム位置図

【今月の表紙】

「森と湖のある風景画コンクール」金賞受賞作品

中学生・高校生の部 木内 彩(徳島県)「初夏の早明浦ダム」早明浦ダム

編集事務局：財団法人 ダム水源地環境整備センター ダム広報センター

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町2-14-2

TEL 03-3263-9051 FAX 03-3263-9085

http://www.wec.or.jp/

E-mail:koho@wec.or.jp

## 森と湖に親しむ旬間



パネルディスカッション風景



子供に大人気だったドラえもん



魚のつかみどり大会



会場は超満員となり、熱気に包まれた

### その他のイベント

メイン会場及びサブ会場では、コンサート、キャラクタースhow、森と湖に関する環境教室、体験教室、水上スポーツ、パークゴルフ大会、魚のつかみどり大会等、主催者側が来場者の方々の声を積極的に聞けるような参加型のイベントを多く企画しました。

「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会事務局

第2部「パネルディスカッション」では、第1部と同様、池上彰氏をコーディネーターにお招きして、5人のパネリストの方々から水と緑をどう活かしてゆくのかが等の議論をいただき、親世代から子世代へ受け継ぐことができるような自然環境にするための、新たな道筋を見つけていくことができた討論となりました。

# 今月の行事

【 】内は各行事の問い合わせ先です。

## 9月

### 《北海道》

21日(土) / **第17回「恵庭渓流サイクリングのつどい」**  
(場所:北海道恵庭市漁川ダム・えにわ湖岸)  
主催/恵庭ライオンズクラブ 後援/漁川ダム管理所  
【☎0123-33-7107】・恵庭市 内容/ダム湖周辺のサイクリングとサリカの植栽(小中学生・一般)

### 《東北》

21日(土) / **森吉山ダム開放セミナー**(場所:秋田県森吉町)  
主催/森吉山ダム工事事務所【☎0186-72-3015】  
内容/小又川及び阿仁川の川漁について講演及びダム工事現場見学会

### 《関東》

19日(木)~11月21日(木) / **ダム写真展**(場所:東京都奥多摩町奥多摩水と緑のふれあい館) 主催/東京都水道局、奥多摩町  
内容/ダム写真パネルを展示し、水源地やダムの役割等を紹介する。(矢木沢・奈良俣・下久保・藤原・相俣・園原・草木・浦山・小河内ダム等) 毎週水曜日は休館日  
【奥多摩水と緑のふれあい館☎0428-86-2731】

23日(月)・24日(火) / **秋のミニコンサート**(場所:東京都奥多摩町奥多摩水と緑のふれあい館) 主催/東京都水道局、奥多摩町  
内容/1日2回、室内楽を演奏する【奥多摩水と緑のふれあい館☎0428-86-2731】奥多摩町には小河内ダムがある

### 《中部》

27日(金) / **施設見学会**(場所:愛知県藤岡町) 主催/藤岡町福祉部【部長・永井昭男☎0565-76-2319】内容/豊田加茂地区民生委員約40名による木瀬ダム施設見学

下旬 / **上下流交流事業をテーマとした「講演会」**  
(場所:静岡県本川根町町民文化会館) 主催/大井川流域連携協議会 内容/大井川の水をテーマに講演会を開催  
【本川根町企画調整課☎0547-59-3111】  
本川根町には長島ダムがある

## 10月

### 《北海道》

6日(日) / **恵庭湖紅葉まつり**(場所:北海道恵庭市恵庭湖自由広場)  
主催/恵庭市観光協会【事務局・商工振興課☎0123-33-3131(内線)4143】内容/キャラクターショー、ファミリーコンサート、ゲーム大会、ジャンケン大会等

9日(水) / **幾春別川クリーン作戦** 場所:北海道三笠市) 主催/三笠の湖・川・緑を愛する会 内容/幾春別川の清掃行事  
【三笠市役所企画総務部企画振興課☎01267-2-3181】

9日(水) / **緑の回廊づくり植栽事業**(場所:北海道三笠市)  
主催/三笠の湖・川・緑を愛する会  
内容/幾春別川に緑の回廊事業のための植栽行事  
【三笠市役所企画総務部企画振興課☎01267-2-3181】

### 《東北》

1日(火)~31日(木) / **大平湖紅葉祭り**(場所:秋田県森吉町太平湖・小又峡) 主催/財団法人森吉町観光開発公社  
内容/一日船長、小又峡宝探し大会、小又峡クイズ大会(土・日・祭日)【森吉山荘☎0186-76-2334】

6日(日) / **田沢川ダム祭り**(場所:山形県平田町)  
主催/庄内総合支庁河川砂防課【☎0235-66-2111】・田沢川ダム「水と緑」推進協議会  
内容/平成13年度に完成した田沢川ダムにおいてダム施設見学会、ダム湖の遊覧、魚のつかみどり、パネル展示及び記念植樹を実施

13日(日) / **第11回五色湖まつり**(場所:秋田県田代町) 主催/田代町役場【産業振興課☎0186-54-3311】内容/五色湖

ロードレース大会、ニジマスのつかみどり、五色湖湖上遊覧、山瀬ダム地下トンネル見学会、その他

26日(土)・27日(日) / **美山湖紅葉フェスティバル**(場所:秋田県協和町) 主催/協和町役場【企画振興課☎0182-892-2111】・イベント実行委員会 内容/ダム湖一周ウォーキング、ステージイベント、魚のつかみどり、釣り大会等

### 《関東》

16日(水) / **市原市中学校総合体育大会駅伝大会**(場所:千葉県市原市高滝ダム周回コース) 主催/市原市小中学校体育連盟【事務局有秋中学校・上面☎0436-66-1066】内容/市内の中学校の駅伝大会は56回、女子16回を数える伝統ある大会です。高滝ダム湖畔を周回するコースで行われます

29日(火)・31日(木) / **秋の水道施設見学会~水道水源林~**  
(場所:山梨県塩山市柳沢峠) 主催/東京都水道局【総務部広報課☎03-5320-6327】内容/都営水道を使用している地域にお住まいの方を無料で大型バスでご案内する施設見学会。(コースは、河辺駅発着:柳沢峠ゾーン水源林ハイキング)

### 《北陸》

19日(土)~20日(日) / **「どーんと!利賀の山祭り2002」**  
(場所:富山県利賀村) 主催/同実行委員会【利賀村産業振興課☎0763-68-2111】内容/紅葉した山々に囲まれて、そば粉100%のそば料理や山の幸、海の幸が味わえ、「利賀の民謡」を中心としたステージや山の素材を使った大小のオブジェ、伝統行事「石かち」の再現などが楽しめる。利賀村では利賀ダムが建設中

### 《中部》

17日(木)・18日(金) / **味噌川ダム上下流交流推進検討会**  
(場所:長野県木祖村味噌川ダム管理所) 主催/味噌川ダム上下流交流推進検討会(中部地方整備局・公団中部支社・公団味噌川ダム管理所【☎0264-36-3111】・長野県・岐阜県・愛知県・名古屋市中木祖村) 内容/味噌川ダム水源地域と下流受益地域が日頃から積極的な交流が図れるような手法の検討を行う

24日(木)・25日(金) / **全国水の郷サミット**  
(場所:三重県長島町長島温泉ホテル花水木)  
主催/全国水の郷連絡協議会、長島町【建設部企画課☎0594-42-4117】内容/基調講演、ゲストトーク&ライブ、特別講演、パネルディスカッション、交流会他

### 《中国》

5日(土) / **キノコ狩りの集い**(場所:島根県広瀬町)  
主催/山佐ダム野営場等林間休養施設管理組合  
内容/ダム周辺の雑木林でキノコ狩り。講師を招き鑑定講習会を行い、その後バーベキュー、キノコ試食会を行う【広瀬町役場山佐支所☎0854-35-0129】

1日~30日の土日祝日 / **噴水ライトアップ**(場所:島根県野城町)  
主催/大田土木建築事務所  
【維持管理課三瓶ダム管理係☎0854-84-9753】  
内容/18時~21時まで噴水のライトアップを行う

13日(日) / **やまなみ大学秋季大学祭**(場所:広島県八千代町土師ダムのどごえ公園) 主催/同実行委員会 内容/10月13日から11月30日の「歴史・湖・自然・お湯・くだもの・花いっぱいそんな高田にGO!」期間において、高田郡6町による竹細工講座等の出前講座やバザーを行う。13日はオープニングイベント【八千代町役場企画課☎0826-52-2111】

27日(日) / **奥津町ふれあい祭り**(場所:岡山県奥津町) 主催/同実行委員会【教育委員会☎0868-52-2921】内容/一般を対象に苦田ダム見学ツアー及び出展でのPRを行う

### 《四国》

25日(金) / **紅葉狩り**(場所:徳島県上勝町スーパー林道沿線)  
主催/月ヶ谷温泉【☎08854-6-0203】内容/正木ダム水源地域にあるスーパー林道の広葉樹林の紅葉を鑑賞する

山口、広島県境を流れる小瀬川の弥栄湖<sup>やまが</sup>を舞台に、平成14年度森と湖に親しむ旬間全国行事「森と湖・弥栄湖フェスタ」が、7月27日・28日の二日間盛大に開催されました。山口・広島両県はもちろん、全国からたくさんの方に来ていただき、水源地の「森と湖」の大切さを実感していただけたと確信しております。

私たちのまち美和町では、水源地として、常に良質の水を供給すべく、たゆまぬ努力を続けております。弥栄湖の水は山口県内一市九町、広島県内三市二町、計四市十一町の方々に利用していただいております。一方、水質に問題があれば、大変多くの方に迷惑をかけてしまいます。そういう意味で、私たちは水源地として非常に重い責任を負っており、また水質を守るために精一杯の努力を続けています。

今回の「森と湖・弥栄湖フェスタ」を通じ、水を利用される方々に、少しでも私たちの努力を理解していただけたら本当に有意義な催しだったと大変嬉しく思います。

また、上流と下流の交流を深める良いきっかけになり、今後ますます交流が活発になってゆくことを願っております。

## 弥栄湖の水と自然を永く提供するために



西村 幸博

山口県美和町長

弥栄湖は非常に風光明媚な美しい湖であり、周辺にはカヌー体験基地、キャンプ場など多くの施設があり、地域の方々に潤いと安らぎを与えています。

ぜひ、皆様の再度の来訪をお待ちしています。日本の国土の中で、水源地は都市部に対し、安全な水と心の安らぎを与えるという、大変重要な役割を担っています。そうした中、私たちは環境整備のための合併浄化槽の設置や、下水道の整備、観光開発、住民生活を支える道路整備などに取り組んでおり、こうした施策に対する支援を熱望しています。

今回の「森と湖・弥栄湖フェスタ」にたくさんの方にご来場いただき、大変感謝しております。そして財政面での配慮をお願いできれば、今以上に素晴らしい弥栄湖の水と自然を提供できるものと確信しております。

最後に今年の森と湖に親しむつどい「森と湖・弥栄湖フェスタ」開催に関し、ご努力、ご協力いただきました、すべての関係者のみなさまに心から感謝を申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



# 第6期(平成14年・15年度) 水源地域エキスパートの紹介

財団法人 ダム水源環境整備センター  
調査第一部



鶴田ダム

## はじめに

「水源地域エキスパート」制度は、平成4年4月に発足しました。この制度は、水源地域対策などに精通した方々や、水源地域の活性化、地域づくり、上下流交流、流域経営・流域連携など各分野の方々からさまざまな情報や、ノウハウを頂戴し、建設ダム・管理ダムの水源地域に対して、講演や助言などの形でバックアップしていただくものです。

同時に水源地域エキスパートの方々には、ダム水源地域や施策に関する各種の情報の受発信源になっていただいております。

制度の運営及びエキスパートの人選・委嘱については、国土交通省の指導をも得て、財団法人ダム水源環境整備センターにおいて行っております。また、エキスパートの委嘱期間は2年間となっております。平成14年4月をもって第6期の新規メンバーに交代いたしました。

これまで、水源地域エキスパートの方々の豊富な実績と経験を通して、数多くの水源地域に有用な情報や助言が提供され、地域の活性化や地域づくりに多大な成果を得ておりますが、今後ともダム・ダム湖を資源とした自立的・持続的な水源地域の発展に向けて、地域づくりに必要なノウハウや助言等、多くの情報が提供されることを期待します。

この制度を将来にわたり積極的に利用していただき、全国の水源地域を幅広くネットワーク化し、管理ダム並びにダム建設を契機とした地域づくりの一助となればと考えております。

以下に第6期水源地域エキスパートの方々のプロフィールを紹介します。  
(敬称略)

北海道  
【分野】水源地域対策  
いけべ ちか  
池部 彰  
北海道 南富良野町長



金山ダムを、地域に開かれたダムとして積極的に活用し、年間40万人以上の観光客が訪れる観光地にするなど、地域振興の活性化に努めている。  
また、平成14年度水資源功績者として7月29日に表彰を受ける。

東北  
【分野】水源地域対策  
よこやま まんぞう  
横山 万蔵  
元山形県 西川町長・  
元水源地域対策懇談会委員



霊峰月山の麓に寒江ダムを中心とした水のシンボルゾーンを設定し、「名水100選」「水の郷」「水源の森 認定など水にかかわりたまちづくりを積極的に展開した。また、水源地域として、平成13年8月、月山フォーラム2001」を開催、「水との共生、水の活用、水の大切さ」など水と人のかかわりを改めて検証し全国に紹介した。

北陸  
【分野】水源地域対策  
なかや のぶゆき  
中谷 延之  
富山県 宇奈月町長・  
前エキスパート



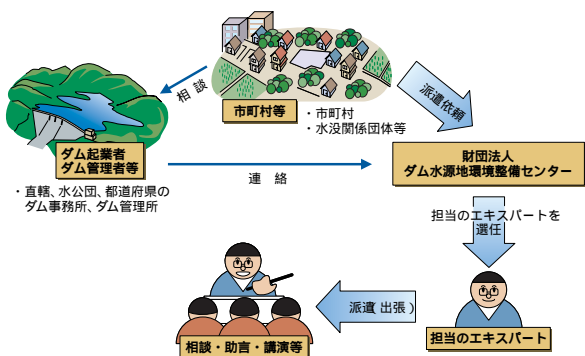
宇奈月ダムを、地域に開かれたダムとして積極的に活用して、黒部峡谷の「トロロッコ」電車に匹敵する第2の通年型観光資源にするべく、周辺環境整備を促進し、宇奈月地域の活性化につとめている。  
また、直轄ダム初の排砂ゲート有するダムにおいて、黒部川土砂管理協議会の委員として排砂方法、下流環境への影響検討等に取組んでいる。

関東  
【分野】水源地域対策  
やまぐち しずお  
山口 静雄  
神奈川県 清川町長




宮ヶ瀬ダム水没者組織の事務局として、生活再建対策を最優先事項に掲げ、国、県、村当局と連携を図り、組織のまとめ役として日夜奔走した結果、損失補償基準の受給や代替地をはじめとする生活再建対策に甚大な力を発揮した。  
ダムの完成に伴い、現在は村長としての活性化、地域振興対策等に積極的に取り組む、住民福祉と生活の向上に努めている。

水源地域エキスパート派遣の流れ




**依頼から派遣までの流れは次の通りです**  
**エキスパートの派遣依頼**  
 市町村や水没関係団体等の方々にエキスパートへの相談等を希望される場合は、(財)ダム水源環境整備センター調査第一部へ派遣依頼してください。  
**担当のエキスパートの選任**  
 (財)ダム水源環境整備センターは、市町村等からの依頼に応じ、依頼事項の内容や地域等を勘案して、現地に派遣するエキスパートを選任します。  
**エキスパートの派遣**  
 選任されたエキスパートは現地へ出張し、関係者と連絡のうえ、依頼事項を処理します。なお、派遣に要する諸費用は原則として当センターにて負担いたします。どこまで活用ください。

全国  
 【分野】地域づくり、村づくり、活性化  
**森野 美徳**  
 ジャーナリスト  
 元水源地域対策懇談会委員




地域開発・都市開発・産業立地・地方自治など大都市、地方の両面にわたる地域経済問題について実践的に取り組み、多方面において貢献している。  
 平成9年から11年にかけて第三期水源地域対策懇談会委員として、「21世紀の水源地ビジョン」水源地の総合的な整備に関する提言 にかかわり活躍した。

四国  
 【分野】水源地域対策  
**大塚 功**  
 愛媛県 野村町長




野村ダムを地域に開かれたダムとして、周辺を野村町観光の拠点として位置づけ、「シルク博物館」「農業公園」等を整備し都市住民との交流を図り地域の活性化に努めている。  
 また、平成12年12月に、野村ダムの右岸4haに「ミレニアム子ども森植樹祭(モチノキ等1,000の本植樹)を開催するなど、水と森のかかわりを重視し森林整備にも力を注いでいる。

全国  
 【分野】流域経営、流域連携  
**小百合 恵**  
 江戸川大学 社会学部環境デザイン学科教授  
 NPO 荒川流域ネットワーク代表




環境問題を地球規模で考え、身近な地域で行動できる市民・企業・行政の連携が重要であり、21世紀には、市民活動団体が環境地域社会の質を高める重要な役割を果たすとの思いから、その担い手としての人材を育てることを目指して教壇に立つ傍ら、荒川流域ネットワーク代表として地域活動に取り組むなど多方面で活躍している。

中部  
 【分野】地域づくり、村づくり、活性化  
**中山 晶計**  
 長谷村前建設課長兼ダム対策室長  
 長谷村わくわく会議前事務局長




20有余年に亘り、美和ダム再開発・戸草ダム事業にかかわり、国・県と地元住民の調整、水没者の生活再建及び地域活性化施策に尽力した。  
 ダム事業を契機とした地域振興、上下流交流の促進、地域に開かれたダムの指定等に積極的に取り組み、現在も市民団体「長谷村わくわく会議」活動で活躍している。

近畿  
 【分野】流域経営、流域連携  
**白井 祥夫**  
 (社)近畿建設協会 参事兼技術第一部長




建設省在任の36年間の大半を河川事業に従事し、特にダム事業の推進とダム管理に尽くした。  
 また、ダムに関する知識、情報に精通しており、「淀川水系ダム水源地ネットワーク」の事務局長代表として水源地域の活性化等に取り組んでいる。

中国  
 【分野】地域づくり、村づくり、活性化  
**松波 龍一**  
 都市計画家  
 (株)松波計画事務所長




平成5年に湯来町で、日本焚火学会を立ち上げ、農山村における伝統的な生活技術の再確認と、それを通した都市と農村の交流を積極的に実践している。  
 平成7年に広島市で、空の下開発公団」を主宰し、都市空間を市民が主体的に活用する運動を開始。その一環として「カフェテラス倶楽部」を組織し、河川敷や緑地帯で毎月定例のオープンカフェを実験的に開催。実施回数はすでに100回を超え、広島市における公共空間活用施策の展開に多大な影響を与えた。

九州  
 【分野】流域経営、流域連携  
**田井 正**  
 久留米大学 経済学部教授  
 NPO 筑後川流域連携倶楽部 理事長



松原・下笠ダム水源地域において、豊かな自然や歴史、産業、文化等の地域の魅力を活用したビジョンづくりに取り組み、地域活性化に努めている。  
 また、筑後川流域全体において「筑後川流域連携倶楽部(NPO)」の理事長として情報交換や人的交流を促進し、流域圏における環境向上や文化及び産業復興に寄与している。

沖縄  
 【分野】地域づくり、村づくり、活性化  
**小濱 哲**  
 名城大学大学院 観光環境領域教授



専門は、リゾート開発と政策科学。ダム及び周辺部を観光・リゾート的にとらえ、まちづくり、村づくりの立場から居住地域の環境として、また周辺住民や観光者のレクリエーション対象地として、利用の推進を考えている。  
 沖縄本島北部地域のダム群に関して、観光学の立場から、ダム及び水源地域の広域的、社会的、経済的、文化的付加価値の形成に助言を行っている。





秘峰「神室山」と神室ダム

ひとつ神室山の麓に、私達が管理する神室ダムがあります。雪を抱く天然のダム神室山の恩恵を受けつつ、その雪解け時や豪雨時には洪水をせき止め必死に下流域を守り、普段は地域住民の飲料水を確保する神室ダム。そんなダムの重要性や森林の大切さを理解

また、ダム湖にはダムと歴史をもにしような、1mを超える巨大ゴイヤその子供達が悠々と泳ぎ回り、観光客の目を楽しめています。このゴイは、ダムの完成を祝って地域の子供達と住民が放流したものと聞いています。さらに、ダム直下には「ホタルの群生地」があり、7月のうだるような暑い日の夜には、満天の星空のよう

明治11年に訪れた英国の旅行家、イザベラバードが、著書『日本奥地紀行』の中で、「ロマンチックな雰囲気のある里」と賛美した森林面積79%を占める県境の町、金山。農林業が盛んで、特に銘木秋田杉に勝るとも劣らない金山杉が有名です。町では、「街並み(景観)づくり百年運動」に取り組み、白壁と切り妻屋根を持つ在来工法による「金山型住宅」の普及と保存により、日本建築学会賞(平成14年4月)を受賞しています。そんな町の東端に、今なお自然の姿を残す栗駒国定公園があり、その



ダム堤体内見学

し、親しんでもらうために、毎年神室ダム施設見学会を実施し、地域住民と明日を担う子供達に施設内の見学、ダム完成までのビデオ放映、ダム湖ボート遊覧、そして魚のつかみどり等を行い、大いに楽しんでもらっています。



清涼感のある水辺のイベントは大人気

に舞う姿を目にすることが出来ます。一方、周辺地域には、本年度第53回全国植樹祭会場となった「遊学の森」、自然体験型スポーツ施設や滞在型ホテルを備えた「グリーンパレイ神室」があり、県内外の観光客でにぎわうなど、ダムを含めた観光コースとなっています。緑の自然(風景)と共生を図り環境を大切にす地域住民とともに、ホタルの生息地がいつまでも守り続けられることを祈りながら、これからも神室ダムの管理に努めたいと思

最上総合支庁建設部 河川砂防課  
技術主査兼ダム調査管理係長  
伊勢利彦



かむろ 神室ダム

山形県

## ロマンチックな山里 金山町の自然と神室ダムの共生をめざして





ひがしからがら  
東荒川ダム

栃木県

# 「東荒川ダム」森と湖に親しむ旬間イベント



東荒川ダム全景

東荒川ダムは、栃木県北東部の塩谷町にあつて、日光国立公園に属する高原山の麓に位置する那珂川水系荒川に建設された重力式コンクリートダム(堤高70・0m、堤頂長276・0m、総貯水容量610万<sup>3</sup>m)で、平成2年度に完成して以来、洪水調節、既得取水の安定化・河川環境の保全等、上水道用水、特定かんがい用水、発電用水の役割を果たしている多目的ダムです。

東荒川ダムの貯水池は、日本名水百選に選ばれた「尚仁沢湧水」(昭和60年・旧環境庁認定)を源とした名水の湖であり、ダム公園内にある名水パークは、県内外を問わず連日たくさんの人でにぎわっており、昨年オープンした「尚仁沢はーとらんど」(町の交流促進センター・地元特産を活かした展示・販売、レストラン等を

兼ね備えた施設)も利用者が増えています。



さかなのつかみどり

今年も例年同様に、「森と湖に親しむ旬間」の行事として、30を超える猛暑の中、7月20日(土)にイベントを開催、600人を超える参加をいただき、大盛況のうちに無事終了することができました。

なかでも、「さかなのつかみどり」は、人気があり、外すことの出来ないメニューとなっており、子供から大人までが逃げまわるイワナ・ヤマメ・マス・アユ・ウナギ(総数3,000匹)を必死になって追いかけ回し、じゃぶじゃぶ池は歓喜が絶えませんでした。じゃんけん大会では、なんと3、

4歳くらいの男の子が優勝を勝ち取り、見事MTB(マウンテンバイク)を獲得しました。また、お楽しみ抽選会でも、地元小学生に折りたたみ式自転車(折りたたみ式)が当たると、会場は一喜一憂の歓声でにぎわいました。



じゃんけん大会でマウンテンバイクを獲得!

地元の恒例行事となっている本イベントを通し、今後とも多くの方々に森と湖に親しんでいただき、自然の大切さ、森林・ダム、河川等の重要性に理解を深めていただければと考えております。

那珂川水系ダム管理事務所  
主査 星 学

# 「森と湖に親しむ旬間」17回目

## 昭和62年から16年目を迎え

国土交通省河川局河川環境課



子供フォーラム



パネルディスカッション  
池上 彰氏をコーディネーターに議論する小川全夫氏、北原 曜氏、山根一真氏、高木美保氏、鈴木藤一郎氏

### ポイント

国土交通省、林野庁、都道府県、市町村では、人々に森や湖に親しむ機会を提供することにより、心身をリフレッシュし、明日への活力を養っていただくとともに、そうした機会を通して森林やダム湖の持っている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割等を理解していただくことを目的として、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めています。

この旬間は、昭和62年に定められ、今年で16回目を迎え、全国各地のダムやその周辺の森林を会場として、ダム見学会や水源地の森林見学会、湖水まつり、スポーツ大会、花火大会等の行事が開催されるとともに、7月27日・28日の両日にわたり山口県美和町・広島県大竹市の弥栄ダム(ダム湖名：弥栄湖)において、「全国森と湖に親しむつどい森と湖・弥栄湖フェスタ」が盛大に開催されました。

### 平成14年度の行事について

8月末時点で集計を行ったところ、平成14年度は全国の245ダムにおいてさまざまな行事が実施され、約70万人の参加者を集めて、盛大に開催されました。昭和62年の165ダムから平成14年では15倍と増加していますが、ここ数年横這い状態となっています。(図 1(表 1))

表-1 行事実施ダム数と行事参加人数

	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
ダム数	165	198	202	230	214	232	212	221
全国参加人数	集計せず	64万人	76万人	92万人	73万人	91万人	55万人	67万人
森と湖に親しむつどい会場ダム	川治ダム(関東)	相保ダム(関東)	田瀬ダム(東北)	天ヶ瀬ダム(近畿)	緑川ダム(九州)	野村ダム(四国)	金山ダム(北海道)	阿木川ダム(中部)
	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
ダム数	238	222	232	254	253	269	268	245
全国参加人数	71万人	71万人	63万人	78万人	78万人	71万人	80万人	70万人
森と湖に親しむつどい会場ダム	土師ダム(中国)	三國川ダム(北陸)	漢那ダム(沖縄)	玉川ダム(東北)	布目ダム(近畿)	耶馬溪ダム(九州)	宮ヶ瀬ダム(関東)	弥栄ダム(中国)

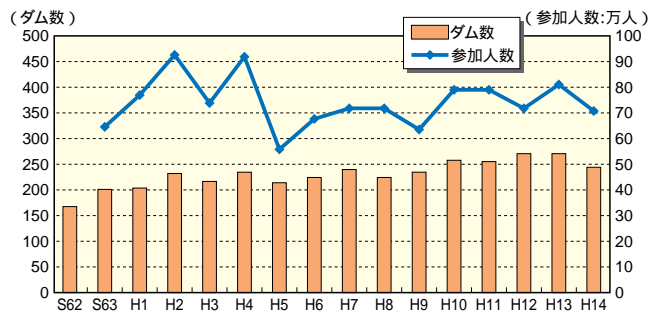


図-1 全国の参加人数及び参加ダム数の推移



## ダム毎の集計

平成14年度のダム毎の行事への参加者数を見ると、小川原湖で13万人を超え、その他各ダムとも多くの皆様に参加いただいている状況です。(表 2)

## 行事毎の集計

各ダムで実施された行事を分類別で見ると、

- ダム見学会を含む行事としては全体の23%で開催され、レクリエーション等の娯楽的な行事、次いで、魚釣り・放流・つかみどりを通じてダム湖及び森林との親睦を図る行事、自然観察・木工教室、水上スポーツ等の行事となっています。(表 3)

- 集客効果としては、花火大会、コンサート、歌謡大会等の娯楽的なイベントが群を抜いて集客効果が大きく、これら2行事で全体の延べ参加人員の半数以上を占めており、次いで最近多くなった水上スポーツとなっています。(表 4)

平成14年度の全国森と湖に親しむつどいは、平成14年度の全国森と湖に親しむつどいは、森と湖・弥栄湖フェスタ」として開催され、山口県・広島県などから2日間で延べ約12,000人の入場者を迎えることができました。また、今回は、例年行われているパネルディスカッションに先立ち、新たにサマーキャンプを通しての「子どもフォーラム」を実施し、「地域の発展・環境保全」の未来について、活発な話し合いが行われ、子供

## 平成14年度 行事開催状況

表-2 参加人数上位10ダム

順位	ダム名	主な行事	参加人数(千人)
1	小川原湖	花火、コンテスト等	130
2	御所ダム	花火大会、ダム見学等	85
3	高滝ダム	花火大会、ダム見学等	80
4	龜山ダム	花火、歌謡大会等	48
5	田瀬ダム	花火、歌謡大会等	22
6	緑川ダム	花火大会、コンサート等	22
7	岩尾内ダム	水上スポーツ等	14
8	弥栄ダム	全国大会、水上スポーツ等	12
9	漢那ダム	花火、コンサート等	12
10	奥野ダム	ダム見学、レクリエーション等	11

表-3 開催行事数 ベスト5

順位	行事	開催数	割合
1	ダム見学会	225	23%
2	レクリエーション、ゲーム大会等	122	12%
3	魚釣り、魚の放流、つかみどり	95	10%
4	自然観察教室、木工教室	86	9%
5	水上スポーツ	61	6%

表-4 開催行事毎の参加人数 ベスト5

順位	行事	参加人数	割合
1	花火大会	435千人	48%
2	コンサート、歌謡大会	150千人	16%
3	水上スポーツ	43千人	5%
4	レクリエーション、ゲーム大会等	39千人	4%
5	ダム見学会	35千人	4%

達の言葉で、「子ども宣言」が発表されました。続いて、パネルディスカッションでは、「活かそう水と緑」次世代につながる地域づくり」と題して水と緑をめぐる現状と問題、水源地和都市の交流、水源地域の活性化などについて考え、地域と水と緑にこれから何が必要なのか等の幅広い議論がなされ、約250人の聴衆が熱心に聞き入っていました。

## 「これからの森と湖に親しむ旬間」

国土交通省では、今後とも林野庁等関係機関と連携をしながら、全国の各地でこうした水と緑の役割を人々に広く理解をしていただくための取り組みを推進・充実するとともに、魅力ある水源地域の整備を地域住民の皆様とともに取り組むこととしています。また、旬間以外においても、より多

くの皆様にダム湖周辺に足を向けていただき、森や湖に親しむ中で、森林やダム湖の持つ自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割並びに水源地域の重要性等を理解していただきたいと思います。さらには、限られた水資源の有効活用や水源地の活性化の推進に一層力を尽くしたいと考えています。

## 「おわりに」

今年の「森と湖に親しむ旬間」にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。また、平成15年度の全国森と湖に親しむつどいは、北海道朝日町の岩尾内ダムとその周辺にて開催されますので、参加並びにご協力をよろしく願っています。

全国行事開催の経緯

# 「森と湖に親しむ旬間」 全国行事16年を振り返って

「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会事務局






昭和62年から、森林やダム湖が有する自然の魅力を広く人々に訴え、それらのもつ意義や重要性についての理解を深めていただくために、毎年7月21日～31日までを「森と湖に親しむ旬間」と定め、この旬間期間中は全国の200を超えるダムにおいて、さまざまな行事が行われています。また、旬間の目的を達成するための全国対象行事を一元的に所管する組織として「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会を旬間制定と同時に

に発足し、各年度の中心的な行事として、「全国行事 全国森と湖に親しむ旬間」を開催してまいりました。本稿では全国行事を主体として16年間の足跡を振り返り、年表形式に取りまとめました。これからも、皆様に、少しでも森林やダム湖に対する興味を持っていただけるように、この活動を継続してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

1989年(平成元年)	1988年(昭和63年)	1987年(昭和62年)	年
<b>田瀬ダム</b> (岩手県東和町・宮守村)  <p>フィナーレ</p>	<b>相俣ダム</b> (群馬県新治村)  <p>コンサート</p>	<b>川治ダム</b> (栃木県藤原町・栗山村)  <p>コンサート</p>	全国森と湖に親しむ旬間開催地  写真
森と湖に親しむコンサート(サーカス) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動・写真コンテスト 森とダムのガイドブック(東北版)作成	森と湖に親しむコンサート(さとう宗幸) 「森と湖」写真コンクールの開催 イメージソング作詞募集・決定 森と湖に親しむ森林・ダム湖地図作成	森と湖に親しむコンサート(森山良子) 全国統一のポスターのデザイン決定 「森と湖に親しむ旬間」の標語、シンボルマーク、シンボルキャラクターの決定	行事内容  印は メイン行事
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「森と湖に親しむ旬間」中央実行委員会の名称を同全国行事実行委員会と変更</li> <li>●新たに「森と湖に親しむ旬間」の現地行事を実行する組織として同現地実行委員会が発足</li> <li>●「森と湖のある風景画コンクール」の開始</li> <li>●実行委員会が協賛した「ロマン銀河鉄道」SLが花巻～遠野を走る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「森と湖に親しむ旬間」イメージソング さとう宗幸氏が作曲</li> <li>●「ダム周辺花いっぱい運動」の推進及び「ダム周辺花いっぱい運動・写真コンテスト」の要領決定</li> <li>●森とダムのガイドブック(関東版)作成開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中央における行事を行うため「森と湖に親しむ旬間中央実行委員会」を設置</li> <li>●「森と湖に親しむ旬間」シンボルマーク及び標語の募集</li> <li>●「森と湖に親しむ旬間」シンボルキャラクター募集</li> <li>●「森と湖写真コンクール」の要領決定</li> </ul>	トピックス  色文字は 現行行事
1997年(平成9年)	1996年(平成8年)	1995年(平成7年)	年
<b>漢那ダム</b> (沖縄県宜野座村)  <p>オープニング 民謡</p>	<b>三国川ダム</b> (新潟県六日町)  <p>花火大会</p>	<b>土師ダム</b> (広島県八千代町)  <p>湖上ステージ</p>	全国森と湖に親しむ旬間開催地  写真
森と湖に親しむコンサート(パシフィッククラブ・シン・ダイヤモンド) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動コンテスト 水源地見学ツアー 森とダムのガイドブック(沖縄版)作成	森と湖に親しむコンサート(財津和夫・渡辺真知子・来生たかお) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動コンテスト 水源地見学ツアー 森とダムのガイドブック(北陸版)作成	森と湖に親しむコンサート(伍代夏子) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動コンテスト 水源地見学ツアー 森とダムのガイドブック(中国版)作成	行事内容  印は メイン行事
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「森と湖に親しむ旬間」10周年記念誌の作成</li> <li>●沖縄県の本土復帰25周年</li> <li>●第3期「水源地対策懇談会」第1回開催、記念式典に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬期から大量に保存した「雪のブレイランド」で真夏の太陽のもと雪と遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ダム周辺花いっぱい運動コンテスト」の開始</li> <li>●コンサートは、湖面上の特設ステージにて開催</li> <li>●記念モニュメントの設置</li> <li>●会場の模様を広島テレビが放映</li> </ul>	トピックス  色文字は 現行行事



1994年(平成6年)	1993年(平成5年)	1992年(平成4年)	1991年(平成3年)	1990年(平成2年)
<b>阿木川ダム</b> (岐阜県恵那市)	<b>金山ダム</b> (北海道南富良野町)	<b>野村ダム</b> (愛媛県野村町・宇和町)	<b>緑川ダム</b> (熊本県砥用町)	<b>天ヶ瀬ダム</b> (滋賀県大津市)
				
木工教室	ウインドサーフィン	イカダレース	オープニングステージ	子供 魚つかみ
森と湖に親しむコンサート (J-WALK) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動・写真 コンテスト 水源地見学ツアー 森とダムのガイドブック (中部版)作成	森と湖に親しむコンサート(由紀 さおり、安田祥子、菅原やすのり) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動・写真 コンテスト 水源地見学ツアー 森とダムのガイドブック (北海道版)作成	森と湖に親しむコンサート (宗次郎、聖飢魔) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動・写真 コンテスト 水源地見学ツアー 森とダムのガイドブック (四国版)作成	森と湖に親しむコンサート(水前 寺清子、大野みのり、嘉門達夫) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動・写真 コンテスト 森とダムのガイドブック (九州・沖縄版)作成	森と湖に親しむコンサート (河合奈保子) 森と湖のある風景画コンクール ダム周辺花いっぱい運動・写真 コンテスト 森とダムのガイドブック (近畿版)作成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートは、湖面上の特設ステージにて開催</li> <li>・木曾五木の記念植樹・記念モニュメント除幕を実施</li> <li>・会場の模様を名古屋テレビが放映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●会場に開催記念植樹を実施</li> <li>●会場の模様をNHK(衛生第2)がテレビ放映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国のダム及びその周辺で「水源地見学ツアー」を開始</li> <li>●野村ダム湖畔の野村会場と、上流の明間会場の2ヶ所で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国行事の実施：ダム湖畔や森林での各種レクリエーション、スポーツ大会等を開催</li> <li>●湖畔に開催記念植樹を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国行事の実施：ダム湖畔や森林での各種レクリエーション、スポーツ大会等を開催</li> <li>●大規模スポーツ公園(大石緑地)に開催記念植樹を実施</li> </ul>

2002年(平成14年)	2001年(平成13年)	2000年(平成12年)	1999年(平成11年)	1998年(平成10年)
<b>弥栄ダム</b> (広島県大竹市・山口県美和町)	<b>宮ヶ瀬ダム</b> (神奈川県清川村・津久井町・愛川町)	<b>耶馬溪ダム</b> (大分県耶馬溪町)	<b>布目ダム</b> (奈良県奈良市・山添村)	<b>玉川ダム</b> (秋田県田沢湖町)
				
ドラゴンボートレース	ダム放流見学	ダム堤頂展示コーナー	オープニング 太鼓演奏	シンポジウム
シンポジウム「地域と水辺の未来のために」 第1部 子供フォーラム 第2部 パネルディスカッション コーディネーター(池上彰)。 森と湖のある風景画コンクール 花とみどりの水源地コンテスト 流域経営功労賞 水源地見学ツアー 旬間全国機関誌(MM2002)の発刊	シンポジウム「水と緑が織りなす人々の絆」をテーマに基調講演(鈴木健二)・パネルディスカッション 森と湖のある風景画コンクール 花とみどりの水源地コンテスト 流域経営功労賞 水源地見学ツアー 旬間全国機関誌(MM2001)の発刊	シンポジウム「地球を豊かにする水と緑 uringのよいある生活空間の演出」をテーマに基調講演(森下郁子)・パネルディスカッション 森と湖のある風景画コンクール 花とみどりの水源地コンテスト 流域経営功労賞 水源地見学ツアー 旬間全国機関誌(MM2000)の発刊	シンポジウム「水と緑の文化考」をテーマに基調講演(宮崎緑)・パネルディスカッション 森と湖のある風景画コンクール 花とみどりの水源地コンテスト 全国森と湖に親しむイベント大賞 水源地見学ツアー 旬間全国広報誌(MM 99)の発刊	シンポジウム「つくる流域ネットワーク」をテーマに基調講演(浜美枝)・パネルディスカッション 森と湖のある風景画コンクール 花とみどりの水源地コンテスト 全国森と湖に親しむイベント大賞 水源地見学ツアー
<ul style="list-style-type: none"> <li>●現地実行委員会は山口・広島両県共催</li> <li>●シンポジウム第1部では「サマーキャンプ」と「子どもフォーラム」からなる「子どもサミット」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第3期「水源地对策懇談会」を宮ヶ瀬湖カヌー場で開催、記念式典に参加</li> <li>●ダム放流見学会を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「流域経営功労賞」の開始</li> <li>●「行事情報」を建設省(当時)のホームページに掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第3期「水源地对策懇談会」第6回開催、記念式典に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「花とみどりの水源地コンテスト」開始</li> <li>●「全国森と湖に親しむイベント大賞」の開始</li> <li>●全国行事としてシンポジウム開始 NHKがテレビ放映開始</li> <li>●第3期「水源地对策懇談会」第4回開催、記念式典に参加</li> <li>●「旬間全国広報誌(MM 98)」の発刊開始</li> </ul>

# 【花とみどりの水源地コンテスト】

## 【流域経営功労賞】

「森と湖に親しむ旬間」  
全国行実実行委員会事務局

### 花とみどりの水源地コンテスト

#### 目的

ダム湖畔が、自然と親しむ憩いの場所となるように、建設中のダム周辺及び管理中のダム湖畔、あるいは湖畔林及び水源地においては、環境整備等に必要な植栽活動が積極的に展開されています。これらの活動をより一層活性化するため、花木（花木以外の樹木を含む）や草木の植栽、播種、手入れの状況等についてコンテストを実施しています。

#### 活動主体

募集は団体単位で行います。  
（市町村、ボランティア団体、町内会、小・中学校、ダム工事事務所、ダム管理事務所、森林管理署等の団体）

#### 応募団体

本年度の応募団体は11団体で受賞が4団体でした。

#### 受賞団体の概要

賞	受賞団体名	代表者名	所在地	関係ダム等
金	「あまぎ緑の応援団」委員会	塚本 勝人	福岡県甘木市	寺内ダム
銀	猿ヶ京ネットワーク	笹木 太弘	群馬県新治村	相保ダム
銅	宮城県森林インストラクター協会	清水 健一	宮城県仙台市	南川ダム
銅	福岡県筑紫野市	田中 範隆	福岡県筑紫野市	山神ダム / 市営水呑ダム

### 流域経営功労賞

#### 目的

水源地の活性化に主体的に連携・協力する流域住民団体、ボランティア団体、個人等の活動のうち、その活動が継続的に実行され、流域の一体的な発展に果たす功績が顕著であると認められる団体及び個人を表彰しています。

#### 活動主体

団体及び個人、又は連合団体等が活動主体となります。  
（流域住民団体、個人、市町村等の行政主体及び小・中学校等）

#### 対象分野と活動主体

対象となる活動分野は、次の流域上下流の連携・交流活動等を広く対象とします。

- 流域上下流の交流推進活動
- 交流イベントの実施・ダム周辺の清掃等
- 水源地活性化への貢献活動
- 水源地産品の定期的購入
- 上流地域に施設設置・活用等
- 水源地自然環境保全・整備活動
- 水源地の植樹等森林設備・水質の調査・保全
- 水源地教育・広報活動
- ダム・水源地見学会の実施
- 水源地教育の教科書（副読本）作成・使用等
- 水源地施設等の積極活用等

#### 応募団体

本年度の応募団体は12団体で受賞が2団体でした。

#### 受賞団体の概要

受賞団体名	代表者名	所在地	関係ダム等
清流猿ヶ石川を守る会	小田島峰雄	岩手県東和町	田瀬ダム
網取ダムの環境と清流を守る会	阿部 和平	岩手県盛岡市	網取ダム



## 平成14年度「花とみどりの水源地コンテスト」受賞団体

### 【金賞】「あまぎ緑の応援団」委員会

#### 福岡県甘木市・寺内ダム

甘木市民に、水を育む森林の大切さを広く知ってもらうことを目的として、133名を3班に編成して、年4回程度の植林・下刈り・枝打ち・間伐等の森林作業を実施することを主な活動計画としている。平成14年度は、20名の参加者に、1.5haにわたって枝打ち指導を実施した。また、44名による有明海干潟清掃を行い、山が海を作るというグローバルな視点に立って環境保護を唱えた。



### 【銀賞】猿ヶ京ネットワーク

#### 群馬県新治村・相俣ダム

平成5年、12名でスタートして猿ヶ京区民、観光協会青年部、商工会青年部、新治村役場などと連携し、他団体とのネットワークをはかりながら会員を増やしている。現在、38名の会員と250名の参加者により、平成15年までに猿ヶ京の街路にサルビア・ペゴニア(18,000本)を合計距離5kmにわたっての植栽活動や、休耕田1.5haに黄花コスモスを咲かせる活動を実践している。



## 平成14年度「流域経営功労賞」受賞団体

### 清流猿ヶ石川を守る会

#### 岩手県東和町・田瀬ダム

昭和46年の河川パトロール活動から開始し、平成14年の今日に至るまで、猿ヶ石川及び同支川を含む清流を公害汚染から守り、住民の健康な生活と自然を保護するとともに広域観光の開発を促進させるため、流域の市町村及び関係機関等が緊密な連携のもとに一体となって、「わたしたちは川のお医者さん」など、毎年テーマを掲げて河川敷の散策、河川マップ等の整備など地道な活動を続けている。



### 網取ダムの環境と清流を守る会

#### 岩手県盛岡市・網取ダム

網取ダムの環境を保全し、中津川上流の清流を守り、住民の健康な生活と自然環境を保護することを目的に20年間活動を続けている。活動は、ゴミ清掃に始まり、ダム周辺の草花の植栽、ゴミ投棄防止看板の設置等、年を重ねるごとに活動内容を増やしている。現在の会員は小学生からお年寄りまで幅広い年代の方たちによって構成され、世代間のコミュニケーションの場ともなっており、環境と清流を守る取り組みが親から子に伝えられている。



# 森と湖に親しむ旬間

全国行事

## 平成14年度 「森と湖のある風景画コンクール」 入賞作品



金賞 小学生低学年・幼年の部 土屋 衣穂(愛知県)  
「放水するダム」 羽布ダム



金賞 小学生高学年の部 橋岡 美沙(山口県)  
「みんなのしぜん」 弥栄ダム



審査委員特別賞 中学生・高校生の部 神 のぞみ(岩手県)  
「美しい放水の虹色のダム」 虹の湖ダム

### 平成14年度「森と湖のある風景画コンクール」

「森とダム」、「森とダム湖」の豊かな水と緑の風景を描き、夢と安らぎが感じられる個性的な絵をテーマとして、全国を対象に募集を行い、コンクールを募集要領に従って実施しています。

募集対象  
高校生以下。募集の区分は「小学生低学年・幼年の部」「小学生高学年の部」「高校生・中学生の部」の3部門。

- 審査委員(敬称略)
- 武蔵野美術大学理事長 前田 常作
  - 東京芸術大学名誉教授 大沼 映夫
  - 共立女子大学非常勤講師 日高 頼子
  - 国土交通省河川局長 竹村 公太郎
  - 林野庁長官 加藤 鐵夫